

アイフルホームが‘こどもの住・家庭環境を考える’シンクタンク 「キッズデザイン研究所」を創設

日本の住宅業界にFＣ制度を導入し、日本最大級の住宅FＣを全国に展開している株式会社トステム住宅研究所(代表取締役社長:大竹俊夫)のアイフルホームカンパニー(住所:東京都江東区亀戸1-5-7 / プレジデント:大竹俊夫)は、この度、こどもを取り巻く住環境・家庭環境の様々な課題を研究し、社会に提言・実践するシンクタンクとして『キッズデザイン研究所』を創設します。

『キッズデザイン研究所』は、次世代を担うこどもを取り巻く住、家庭環境の整備課題を調査抽出し、学識経験者を含めた専門家の提言をまとめて、実践するシンクタンクとして位置づけました。

アイフルホームでは、4月1日より発売となる子育て世代をターゲットにした新商品の開発にあたり、家事・子育てに関する調査や外部有識者のアドバイスを基に商品開発を進めて参りましたが、次世代を担うこどもの住環境や家庭環境の整備を進めていくことは、実は少子化問題や高齢化社会問題、地球環境問題、家庭内暴力、いじめや引きこもりといったコミュニケーション課題など、様々な社会問題と密接にかかわりあっていることから、これらの課題研究を更に突き詰めることが必要であると考え、『キッズデザイン研究所』として創設致します。

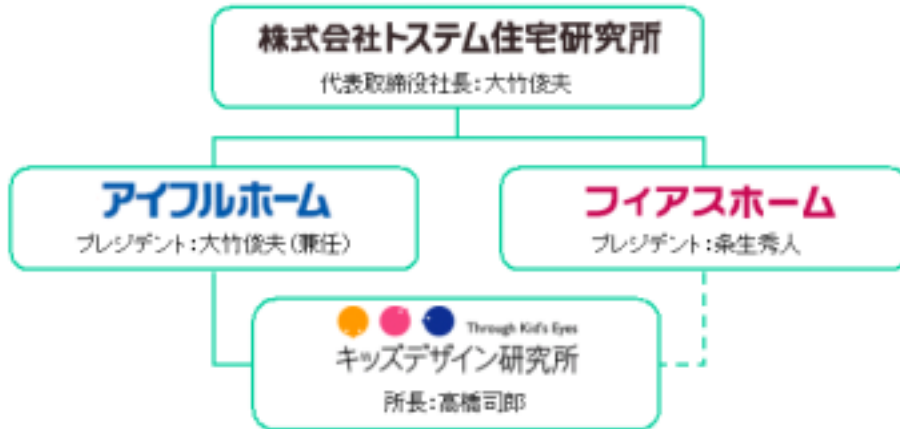
『キッズデザイン研究所』は、育児教育などの分野で注目されるレイチェル・カーソン著「センス・オブ・ワンダー」を日本中に紹介したナガノユキノ氏や、チェルシーフラワーショー2004シティガーデン部門最優秀賞受賞の‘ガーデンデザイナー’矢野TEA氏など、アイフルホームの新商品開発におけるアドバイザーでもある外部有識者を迎え、これまでアイフルホームの商品企画に携わってきたメンバーで構成していきます。

『キッズデザイン研究所』創設にあたり、ナガノユキノ氏や矢野TEA氏のアドバイスを反映させたアイフルホームの新商品として、こどもの成長やママの家事効率などに拘った子育てが楽しくなる家「c'e-si-bo」(セシボ)を発売致します。

その中でも、矢野TEA氏監修の日本で初めて発売されるこどもの成長にあわせて変化する庭「デザイナーズモジュールガーデン」は、住宅FＣとしてはこれまでにない庭の販売という点でも新しい試みとなっています。

記

キッズデザイン研究所の位置付け



住所:東京都江東区亀戸1-5-7

所長:高橋司郎

今後の活動領域

調査

- ・住まいに関する子どもの意識調査
- ・子どもの行動特性調査
- ・感性教育に関する調査など

研究開発

- ・家庭生活に関する親子コミュニケーション
- ・家庭内事故の抑制策
- ・感性価値教育と住環境

事業開発

- ・研究に基づく住宅設備機器や住宅の開発

教育・研修

- ・アドバイザーによる研修と資格認定制度

社会提言・広報活動

- ・各成果を基に社会提言を行い、広報活動を展開する

この件に関するお問い合わせ先

株式会社トステム住宅研究所
広報担当:山口までお願いします。
: 03 - 5626 - 8251